

おおず

ひじかわばし

## 大洲小学校児童が大正時代の肱川橋橋脚を見学しました

当事務所で事業を進めている肱川橋橋梁架替において、取壊し中の橋脚の中から大正期に造られたレンガ造りの橋脚が現れたことから、大洲小学校児童を招いて現場見学会を実施しました。

- 日 時：平成29年 3月 3日（金）8：30～9：00、15：00～15：30
- 場 所：肱川橋撤去工事現場
- 参加者：大洲市立大洲小学校児童（301人）

初代肱川橋は1913年（大正2年）に完成。現在は、耐震面の問題等から取壊し工事を進めています。取壊し中の橋脚の内部には、初代レンガ造りの橋脚が存在しており、慎重に鉄筋コンクリートを取り壊した結果、ほぼ建設当時のままのレンガ造りを浮かび上がらせることが出来ました。

当日は、大洲小学校全校児童が参加し、パネルで肱川橋の歴史について理解してもらった後、実際にレンガ造りの橋脚に触れてもらい、記念撮影を実施しました。参加した児童からは『このまま保存すれば世界的に有名になるのでは』などの感想があり、古い建造物や建設現場に興味を持ってもらうことが出来ました。

今回の現場見学会では、肱川橋への想いや愛着を感じていただきました。今後も建設産業の担い手確保の一環として、継続した現場見学会を開催していきたいと考えています。

なお、今回撤去するレンガは、記録保存を予定しています。また、他の橋脚についても、地元の方の想いに寄り添えるような保存方法を大洲市と協議していきます。

